

「えのくま日記」四十八号

平成二十七年六月 ～ 平成二十七年七月

「お願い事が叶いますように」

松本 美香（年長ほし組担任）日記

七日の七夕集会は、とても賑やかな笹飾りに囲まれた中での集会となりました。七夕の由来を聞いた後、各クラスの代表児から「字が上手になりますように」「焼肉と卵のお寿司が食べられますように」など、いろいろなお願い事の発表がありました。

みんなで『たなばたさま』の歌をうたった後は、先生からのお楽しみ！ブラックライトシアター『おりひめとひこぼし』のお話でした。とてもきれいで、子どもたちは、お話の世界に引き込まれているようでした。

今年の七夕は、残念ながらお天気に恵まれませんでした。子どもたちのお願い事は、きつとお空まで届いていると思います！ みんなのお願い事が叶いますように・・・



「優しい姿」

浅野 悦子(預かり保育担当) 延長預かり保育日誌より

午睡の前、読み聞かせの時、保育者の側から離れず下に座らない年少児がいると、年長のMちゃんも、さっと自分の膝の上に乗せて、一緒に座っている優しい姿が見られ、とても嬉しかった。昨日、片付けの話をしたので、今日は皆の片付けが早かった。引き続き皆で片付けが出来るよう声掛けをしていきたい。

園庭の状態が悪かったので、室内遊びとなった。室内遊びが続くのでケガのないようしっかり見ていきたい。

(六月九日)

「えのくま きらきら水族館」



園長日記

職員室前のツバメの巣から、大きく育ったツバメの子どもたち五羽が飛び立った日、職員室前のもう一つの名所となった「えのくま きらきら水族館」の一番新しい水槽に、五匹の金魚さん達がデビューしました。

新しい水槽は、えのくまファームのお隣のおじさんからプレゼントされたもので、照明や色んな水槽用の置物も一緒にいただきました。なにかしら竜宮城を思わせるような新しい水槽と、「亀のかめ吉くん」「ひぶなくん」、そして残念ながら天国に旅立った「どじょうくん」の四つの水槽からなる「えのくま きらきら水族館」は、子どもたちにとって新たな人気スポットになりました。丸椅子も置かれ、お客さんを楽しませています。(六月九日)

「年少さんの一週間」

武生 香里(年少はな組担任) 週案日誌より

☆六月八日(月)「かさ製作、折り紙をちぎる」

今日は、かさ製作を行った。導入として「かさ」の絵本を読み活動へと取り掛かった。好きなかさの色を選び、それに付ける模様となる折り紙も自分で選んだ。ちぎるという作業は「ビリビリ」と言いながら、とても喜んで行っていた。上手くちぎれない子には、斬り込みを入れるなどして援助していった。

☆六月九日(火)「かさ製作、模様を付ける」

昨日作った「かさ」にマーカーを使って顔を描いたり、レインコートに模様を付けたりした。出上がったものを壁面に飾っていくと、とても嬉しそうにしている子が多かった。これからも子どもの作品を多く取り入れた壁面を作っていきたいと思った。

☆六月十日(水)「ゲーム遊び、おおかみさん いま なんじ」

今日は、時の記念日にちなんだゲーム遊びを行った。まず最初に時間について話をすると興味を持って聞く姿があった。その後、ルールを説明したが、ほとんどの子がルールを直ぐに理解した。しかし、なかにはルールが理解出来ず楽しめていない子の姿もあった。今後の様子も見守っていきたい。

☆六月十一日(木)「絵の具遊び」

今日は、絵具遊びを行った。テラスに座り、雨の降っている様子や風景を見たり、雨の音を聞いたりした後、活動へと取り掛かった。大きな紙を見せ、筆や絵具を紹介すると子どもたちの目がとても輝いていた。実際に活動に移ると、ダイナミックに楽しむ子、黙々と夢中になって楽しむ子と、それぞれの姿が見られた。

☆六月八日(金)「表現遊び」

昨日、行った絵の具遊びの紙を雨や水たまりに変身させ、表現遊びを行った。朝のうちから雨を部屋に吊るしていたり、水たまりをひとつ用意したりしていたので、子どもたちも「これ、何？雨？水たまり？」と興味津々聞いてくる姿があった。今日は、「かえるの絵本」を読み、一人ずつ「かえるのお面」を作り、表現遊びをしていった。

「プール開きとカメラマンさん」

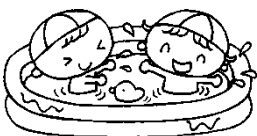
園長日記

梅雨の晴れ間となった月曜日の朝、子どもたちや先生方の願いが叶って「プール開き」ができました。プールサイドにきちんと整列した子どもたちと、まどか先生がお約束をしました。「プールサイドでは走らない」「飛び込まない」「おもちゃは片付ける」「バスタオルを巻いて歩かない」「衣類の整理整頓をする」の五つです。担任三か月目のまどか先生が子どもたちに語りかける姿は、随分と先生らしくなってきました。

「プール開き」をTOSさんが取材してくれました。今回のカメラマン（佐藤 智さん）は二時間に亘って取材され、時折、プールに入り、水しぶきを浴びながらもカメラを回していました。とても熱心な姿に感心してお尋ねすると「カメラマン三か月目です。幼稚園の取材は初めてです。子どもさんの純粋な笑顔が、とても印象的です」と答えてくれました。

（六月十五日）

付記・放映される時間はせいぜい数十秒ですが、そのために二時間に亘って汗をかき、しぶきを浴びながらも取材していただいたカメラマンさん、本当にありがとう。誠実な取材姿勢に感心しました。



松本 美香（年長ほし組担任） 日記

「先生の口って大きい！」

先日の給食での事です。子どもたちが「いただきます」をして、しばらくしてから、私もその日のお当番さんの机に行き、一緒に食べ始めました。子どもたちの話を聞きながら食べていると、お当番のアイズグループの子が、みんな私の方をじーっと見ているので「なあに？」と尋ねると「先生、さっき食べ始めたのに、もう終わりそう！」と言うので「先生は、早く食べれるんだよ」と話すと、一人の男の子が「違うよ！先生は口が、しんけん大きいけん、いっぱいご飯が入るんで！俺、隣で見よったもん」と自信満々に言いました。そんな所まで子どもたちに見られているとは思わなかったので、ビックリしました。これからは、大きな口を開けて食べないように気をつけようと思います。

（六月十五日）

「懐かしい歌 二話」

園長日記

☆一話 「山賊の歌」



雨が降ったら紙芝居、今朝もたくさんのお客さんが集まりました。子どもたちと楽しいひと時を過ごせるよう、今年も少しだけ工夫をしています。

紙芝居の前に、手遊びと「歌」を取り入れてみました。歌は、ここ数十年、人前で歌うのはスナックで下手くそなカラオケ演歌ばかりでした。さすがに可愛らしい子どもたちの前で演歌は歌えませんが、若い時（五十年前程前）にキャンプで覚えた「山賊の歌」を子どもたちと一緒に歌うことにしました。「えんちよう先生が山賊になって歌うよ、良い子のみんなは、えんちよう先生に負けないような大きな声で歌えるかい」と少し挑発気味に話して、歌い始めると、子どもたちが一斉に楽しそうに大声で歌い始めました。

♪ 雨が ふれば 小川 が でき 風 が 吹けば 山が できる
ヤッホー ヤッホー 呼べ

五十年近く歌ってなくて、歌詞もうろ覚えです。「雨が ふれば 紙芝居と山賊の歌」しばらく続けてみます。

（六月十六日）

☆二話 「ロバのパン屋さん」

後藤学園に勤務されている先生のお母さんが亡くなられました。日頃、大変お世話になっている先生で、えのくま幼稚園の全ての先生達がお通夜の弔問をさせていただきました。喪主の先生のご挨拶が胸に沁みました。「生前、母はパン屋（ロバのパン）を父と一緒にしていました。パンを作るのに母は、午前三時頃から働いていました。苦勞の絶えなかった母ですが、人を氣遣う思いはとても強く、『人の氣持ちを大切にすること』を常々、子どもたちに語っていました」

先生のご挨拶をお聞きしながら、とても懐かしい「ロバのパン屋さん」の歌を思い返していました。♪ ロバのおじさんチンカラリン、チンカラリンロンやってくる、ジャムパン、ロールパン できたて 焼きたて いかがです ♪

（六月十八日）

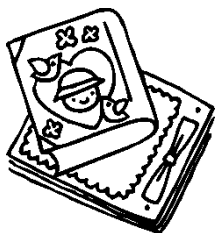
「ちょっと、せつない読み聞かせ」

野田 千織（年少はな組保護者） 日記

「今日、お母さん幼稚園に絵本読みに行くからね！」 そう息子に伝えたところ、まさかの「えーっ」の一言。「お母さんが行くの嫌なの？」「そう。」幼稚園に私が現れたら喜ぶかなと、思い切って申し込んだボランティア、照れ臭いのも分かるけれど・・・ちよっぴりせつない。

教室での息子は、やっぱりどこかよそよそしい表情。それでも周りのお友だちと同様、真剣に話して耳を傾けてくれたのでひと安心。下の娘をおぶりながらの読み聞かせは、今回で二回目。前日も娘に氣を取られながら読むのに集中してしまい、子どもたちの反応を見逃してしまった。次回は、自分も楽しむ余裕を持ちながら、一方通行の朗読にならないよう氣をつけたいです。ちなみに・・・帰ったら「うれしかった」の言葉がもたらえてホッとした母なのでした。

（六月二十一日）



「卒業アルバム」

山田 恵（年長つき組担任） 日記

帰省した際、私の幼稚園の時の卒業アルバムを持って帰りました。そして、卒業アルバムの表紙を描く活動の日、アルバムを子どもたちに見せました。今と変わらない三つ編みの私に、目を丸くする子どもたち。「卒業アルバムは世界にたった一つだけの先生の宝物」だということ、「アルバムを見たら、どんなお友だちと仲良しだったのかな、どんな行事が楽しかったつけ、担任の先生は誰だったかな、とか、いろんなことを思い出すし、たくさん思い出が詰まっているよ」と話しました。

子どもたちが「えー！いいなー！」「欲しいー！」と言ったので、表紙の絵を描くことになりました。テーマは『大きくなったら〇〇になりたい』です。そこで、また、私の子ども頃の話をしました。「ケーキを売ってるお花屋さんになりましたけど、キューティーハニーにもなりたくって・・・。小学生になったら、お薬をつくる薬剤師さんになりたくって・・・。でも六年生のときに一年生のお世話が大好きで、幼稚園の先生になりたくって、一生懸命お勉強して、なりたい！なりたい！って思いながらお勉強したら、本当になれて、みんなと会えたんだよ！」と。みんなキラキラした目で聞いてくれました。Sちゃんが、「ケーキ屋さんになれるかなあ」と言ったので、「なりたい！って思ったらケーキを作るお勉強をしたら絶対なれるよ。」と話しました。その後の活動は、私も声をかけられないくらい、しーんとした教室で黙々と表紙の絵を描いていました。（しーん、とした中で、〇くんから「キューティーハニーって何？」と聞かれました。）

（六月二十二日）

記念館で父母の会、保体文化部主催の「ヨガ教室」をさせて頂きました。窓から入ってくる心地良い風に吹かれながら、お母さん達がゆっくりと身体を伸ばしたり、息をはいたり。とても気持ち良さそうでした。

講師の岡田先生のやわらかい声と、ゆったりしたBGMの中で、約一時間ヨガを教えて頂きました。日頃の疲れを少しでも癒して頂けましたでしょうか？ 託児や、その他不十分な所があったと思いますが、ご参加下さった皆様、大変ありがとうございました。皆様から頂いた感想などは後日、父母の会だよりに数名分、載せさせて頂きたいと思っております。来年もまた「ヨガ教室」があったら、私もしてみたいと思いました。
（六月二十三日）



「ジャガイモさんの収穫」

園長日記

梅雨の水曜日、水温が低いため年長さんは予定していた「プール遊び」から急遽、「ジャガイモさんの収穫」に切り替えました。

長雨で、なかなか収穫できなかったジャガイモさんを思わぬ形で掘ることになりました。早帰りのうえ、今にも雨が降り出しそうな天候のため、先生達は勿論、子ども達にも素早く収穫するように伝えました。ジャガイモの畝七列に子ども達がクラス毎に座り、一斉に素手で掘り始めました。掘る前に、スコップで土を掘りやすくしていたため、子ども達は、大歓声を上げながら次々に小ささまざまなジャガイモさんを掘り上げました。ジャガイモに混じって幼虫もでてきたりして、大変賑やかでした。またたくうちに、用意していたタライに二杯分の大収穫となりました。お土産のジャガイモさんを持ち帰る子ども達の嬉しそうな顔が見れて、本当に良かったと思っております。
（六月二十四日）

「思わず笑った子どもの発言」

山田 恵（年長つき組担任）日記

- ①バスに乗っているとき、Rくんが「あ、先生！そーいえば、あつこのミスターマックスは袋タダでくれなくなつたよ！」と言いました。本当に五歳！？と思わず笑ってしまいました。私もちょうどそのとき感じていたことなので、「そー！そー！困るー！」と共感してしまいました。
- ②Aちゃんが急に、「先生ー私のパパ、ギャグ得意！」と教えてくれました。どんなギャグをするのかは教えてくれなかったのですが、気になってしょうがないです。Aちゃんのパパ、「パパ先生」の日、お待ちしております。
- ③Mくんが急に「俺は大きくなつたら『前川清』になる！」と言いましたので、思わず、どころか、大爆笑。その他、つき組には大きくなつたら、嵐の相葉くん、ザキヤマ（芸人）、志村けん・・・など、みんな将来が楽しみですよ。
（六月二十五日）

「初めての誕生会」

梶間 菜摘（年少ゆき組担任）日記

六月のお誕生日会を担当させていただきました。前日にリハーサルを行い、流れを確認し、アドバイスをいただいで、いよいよ誕生会当日。緊張と不安から、進行をするのが精一杯で、先生方に助けていただくことばかりでした。

職員の出し物として、エプロンシアターを行いました。ステージ裏でドキドキしながら準備をし、子どもの前に立つと、全園児の目がこちらに集まり、今までにない緊張感で、上手くお話が出来た自信がありませんでしたが、降園時、誕生会を見に来られていた保護者の方から「今日は楽しかったです」と、声をかけていただいた時には本当に嬉しく思いました。まだまだ納得のいくものではありませんが、これからも努力していきたいと思えます。

（六月二十五日）

「トリケラトプスになったら！」

田中 智子（年少ひかり組保護者） 日記

入園して三か月、六月は自分の番だと指折り数えて楽しみにしていた誕生会。満面の笑みや元気な声、友達とハイタッチして退場していく姿に、息子の成長と幼稚園生活を楽しんでいる事を改めて感じさせて頂きました。

息子の夢は「トリケラトプス」になる事！先日も朝食を食べながら「僕が大きくなってトリケラトプスになったら、ママと会えんので！」と突然衝撃の一言・・・「嫌だな・・・」と思わず落ち込む私を、宥めるように「だって恐竜は、昔に住んでいるやろ。だからじゃん！嫌ならママも恐竜になる？」と本気度 百二十％です。最愛の息子を夢中にさせている恐竜の世界と一緒に楽しみ、日々吸収する恐竜豆知識に成長を感じ、喜びながらも「ゆつくり成長してね」と秘かに願う、ワガママな母でした。
(六月二十五日)

※六月誕生会で、将来の夢で恐竜のトリケラトプスになりたいと、とてもユニークな答えをしてくれた年少さんのお母さんに、ご投稿をお願いしました。

「バスの中で」

庄 恵理奈（年中にし組担任） 日記

帰りのバスの中で、年少の子どもが年中の子どもの肩に頭を乗せて寝ていました。私は重たいだろうなと思い、頭を動かそうとすると、年中の子どもが「先生、動かさないよ！いっつも肩貸してあげちよんけん！年少さん寝ちよんの可愛いし！」と言い、年少児の背中をとんとんしたり、頭が落ちそうになったら支えてあげる姿がありました。とても頼もしいなあと思うと同時に、その姿がとても可愛らしかったです。園でのかかわりだけでなく、バスの中での子ども同士のかかわりもあるんだなああと改めて感じました。
(六月二十五日)

「八百三十五名のファミリー参観」

園長日記

梅雨の中休み、午前中は雨が降らず、予定通りファミリー参観が実施できました。参観にはお母さん二百二十名、お父さん百七十九名、祖父母二十三名、兄弟児百六十名、園児を合わせた八百三十五名の大賑わいの参観となりました。各教室や記念館で、普段は見られない、親子の楽しい触れ合いを随所に見ることができました。新しいクラスになって、三か月目ですが、子ども達の心身の成長や、担任との心のつながりが深まっていることをご理解いただけたのでは思っています。これからの成長が、本当に楽しみです。

お越し頂きました保護者や祖父母の皆様のご協力に感謝申し上げます。また、駐車場係の保護者の皆様に重ねてお礼を申し上げます。皆様のご協力でファミリー参観を思い出深い、楽しい行事とすることができました。
(六月二十七日)



「可愛い言い間違い」

塩月 香菜子（年少ひかり組担任） 日記

六月は、おたより帳のシールを貼る場所にカエルかカタツムリの絵を毎朝描きました。私が「これ何だ？」と子どもに聞くと、「カエルさん！」「でんでんむし！」など、みんなが答えてくれました。

ある一人の男の子のおたより帳にカタツムリを描いて同じように聞くと、「カタムツリ！」と元気よく答えてくれました。もしやと思い「でんでんむしむし？」と歌ってみると、元気な声で「カータムーツリー」と歌ってくれて、面白さと可愛さで、私は一日中笑顔が止まりませんでした。カエルになりきったり、カタツムリの歌を手遊びしながら歌ったり、季節を十分に感じる事が出来た月となりました。
(七月一日)

「不審者」

園長日記

七月の安全教室は、不審者に対応するための防犯教室でした。2Fホールに集まった全園児の目を釘づけにしたのは、先生達の劇でした。

舞台の子ども役の紀央先生や菜摘先生に声をかけたのは、帽子とサングラス、そしてマスクをした香菜子先生扮する見るからに怪しい男でした。「お菓子をあげるから付いてくるかい」と手を引つ張ると、客席の子どもたちから一斉に「ダメー、付いていっちゃダメー！」の声が上がりました。あの手この手で連れ去ろうとする不審者でしたが、進行役の武生香里先生と子どもたちが「不審者に対応するためのお約束」を確認していき、被害にあうことはありませんでした。それにしても幼稚園の先生になったばかりで二十歳の香菜子先生の不審者役、なかなかのものでした。年少の女の子が一人、怖くなって泣いていました。(七月一日)

「日々成長」

梶間 菜摘(年少ゆき組担任) 日記

六月は、体調不良などでお休みをする子が多く、全員揃つての登園が出来ずに、「なんかちよつと寂しいなあ」、「早く良くならないかなあ」とつぶやく子どもの姿があり、ふと子どもたちの成長を感じました。毎朝お友だちが登園してくると、「先生ゆき組さん来たよ!」、「おはよう!」と元気に声をかける姿を目にします。また、野菜が苦手なゆき組さんですが、「僕全部食べれるよ」と、なかなか野菜を食べてくれなかった子が、友だちの頑張つて食べている姿を見て、自分から野菜を食べてくれたり、毎日たくさんのからっぽチャンピオン(完食する子)がでてくるようになり、何気ないところで成長を実感するばかりです。

あつという間に過ぎていった三か月でしたが、日々成長してきたことを実感させられました。これからも先生や友だちと笑い、葛藤する中でさらに成長してほしいと思います。

(七月一日)

「ラブレター」

宮本 博美(年中ことり組 担任) 日記

六月から、ことり組の担任となり早いもので一か月が経過しました。最初は、少し距離を置きながら様子を窺っていた子どもたちでしたが、日を重ねる毎に距離が少しずつ縮まったように感じています。毎朝、教室に行くと数名の女の子たちが「先生、はい!」と小さな紙を渡してくれます。中には、文字や絵が紙いっぱい描かれ、「だいすき」や「あそぼうね」の言葉も添えられています。家に帰ってから一生懸命作ったんだらうな…と想像すると嬉しくなります。最近では、男の子も手裏剣やお手紙をくれるようになりました。日々もらう子どもたちからの贈り物と元気なパワーに支えられながら、クラス担任という幸せな時間を楽しみたいと思います。

(七月一日)



「盆踊り」

内藤 紀央(年長なぎさ組担任) 日記

夕涼み会が今月の末と近づき、園内でも盆踊りの練習が始まりました。今年は「じゃぶじゃぶ音頭」という新しい盆踊りが加わりました。

先日、全園児で園庭に出て大きな二重円を作り、音楽に合わせて練習をした後、年長児は各クラス順番に足だけをプールにつけ、みんなで暑さをしのぎました。なぎさ組が足をつけている中で「気持ちいいね」と、言っていると、一人の女の子が「あぁいい気持ちいいね」と、じゃぶじゃぶ音頭のワンフレーズを口ずさみだし、それを聞いた子どもたちも、今度はみんなで「あぁいい気持ちいいね」と踊りだしました。同じフレーズではありましたが、みんなで楽しく踊り、プールでは身体が涼み、子どもたちの咄嗟の可愛らしい行動に心がとても暖かくなったひとときでした。

(七月三日)

雨の降らなかつた午前中は時折、日差しもあり、子どもたちは久し振りにプールで水遊びができました。プールのブルーに子どもたちの色とりどり水着が映えて、とても賑やかでカラフルな水遊びとなりました。

午後は園庭に全園児が集まり、二重円を作り夕涼み会で披露する踊りの稽古をしました。カラー帽子を被った子どもたちが「お天気花丸音頭」「忍玉音頭」「じゃぶじゃぶ音頭」の三曲を元気に可愛らしく踊りました。外周で踊る年少さんは、踊りはまだまだで、うる覚えでしたが年長さんや年中さんを見ながら楽しそうに踊っていました。まるで、園庭に可愛らしい花が咲いたようでした。指導していた先生達も、とても嬉しそうでした。本番では手に団扇を持って踊ります。

(七月三日)



「ママ体験」

岩武 まどか(年少みどり組担任) 日記

みどり組の男の子が「ママおはよう」と私をママと間違えて呼んだことから、一日「まどか先生」ではなく、「ママ」と呼ぶ遊びが始まりました。「ママこちに来てー」「ママ遊ぼう」と笑顔で言う子どもを見て、ママっていいなあと思いました。でも、「ママ着替えさせて」「ママ食べさせて」といつもの「まどか先生」の前では見せない甘えてくる姿を見て、家での様子を垣間見ることができ、やっぱりママって大変なんだなあとも思いました。たった一日のママ体験でしたが、とても楽しくてステキな時間を子ども達と過ごせました。

(七月四日)

「日々の保育」

末田 祥子(年中そら組担任) 日記

七夕飾り製作をした時、「先生楽しいね!」「まだ作りたい!」など、子どもたちから嬉しい声がたくさんあがりました。普段、製作にあまり乗り気ではない子どもも、活き活きした目をして取り組んでいました。そんな姿に、私自身も楽しく活動を進められ、充実した時間を過ごすことができました。

子どもたちが飾りやすいようにと下準備し、笹を横に寝かせ、いよいよみんなで飾りつけ! 飾りを奪い合う勢いで、楽しい気持ちのまま飾っていた子どもたち。まっすぐに笹を立ててみると、ポロポロポロ。半分以上の飾りが床に落ち、がっかりモードへ。再度気を取り直して、飾りつけをするも、同じ状態。子どもたちのやる気はすっかりなくなり、笹から離れていきました。最後まで飾りをつけていたのは4〜5人でした。

(七月四日)

「すうじのうた」

武生 香里(年少はな組担任) 日記

はな組では、六月から『すうじのうた』を歌っています。絵を描きながら、歌って歌詞を伝えていくと、興味津々で私の手元を見つめている姿がありました。

十番まである曲ですが、少しずつ歌詞を覚えて、徐々に元気に歌えるようになってきました。また、おたより帳のシール貼りの際には、「今日は、赤ちゃんのお耳でいい?」、食事のごちそうさまの際には、「ごちそうさまは、いつ? たぬきのおなか?」などと、うたの歌詞を交えながら聞いてくる姿もあります。歌を通して、数字に興味をもってくれたことをとても嬉しく思います。歌が大好きな子どもが多いはな組さん。これからも、子どもたちと一緒に色んな歌を歌っていきたいと思います。

(七月六日)

「ブラックライト シアター」

園長日記

雨のため2Fホールで行われた「七夕集会」で、子どもたちの目を釘づけにしたのは、「ブラックライト シアター」でした。

暗幕を引き、ホールが真っ暗になり『おりひめとひこぼし』の物語が始まりました。ライトが当たると、パネルに貼られた『おりひめとひこぼし』や神様、天の川などがキラキラ輝いて浮き出てきました。物語の進行は松本美香先生、『おりひめとひこぼし』役は内藤紀央先生と先回の安全教室で「不審者」役の塩月香菜子先生が務めました。十本のとても綺麗な笹飾りが展示されたホールで、短い時間でしたが、これまでの「七夕集会」とは趣向が異なるとても幻想的で感動的なひと時となりました。

(七月七日)

「朝顔の種」

波多野 幸子(教頭・副園長) 日記

6月のどーなつクラブで、朝顔の種を蒔きました。この種は今年の3月末に引越したSちゃんから頂いたものです。4月には入園するお友だちでしたから、転勤のお話を伺った時とはとても残念に思い、是非この種は教室で蒔きたいと思っていました。

植木鉢にするペットボトルは、先生方に協力してもらい集めました。下半分を切りとり底に穴をあけたらエコ植木鉢の出来上がり。土は園長先生がえのくまファームから運んでくれ、1人2粒の種蒔きに挑戦しました。その後、ぽかぽか広場や7月の教室に参加された方から「芽が出ましたよ!」「毎日水やりにはりきっています」等の嬉しい報告を聞きました。妹と一緒に教室に通っていたSちゃん的笑顔がうかび、夏に向けて花開き、また種を実らせて、人も心もつながっていくのだと思うと、優しい気持ちになりました。Sちゃん、元気にしてるかな? 「どーなつクラブ」はこれからも、今しかできない親子の温かい時間を大切にしていきたいと思います。

(七月八日)



「預かりの子どもたち」

工藤 真紀(預かり延長保育担当) 延長保育日誌より

今日は、十一時帰りだったので、お弁当の前に少し園庭に出た。砂場のシートに水溜りができていて、裸足で遊ぶ子どもが多かった。その為、着替えが必要な子が多く、バタバタしてしまった。おやつ後は、雨が降り始めていたので室内で遊んだ。年中の男の子は、広告で剣を作ることはまっているみたいで、自分なりにかっこいい剣を作ると、お迎えに来られたお母さん達に嬉しそうに見せていた。

(七月八日)